よむギカイ

News from Inabe City Council

No.91

いなべ市議会だより／令和８年／９月定例会

P2～　暮らしを支えた予算の行方
　令和７年度決算をチェック！
P4～　予算編成に向け市へ提言
P10　13人の議員が市政を問う一般質問
P17　通年議会制に向けて
P18　議会をもっと、身近に
P19　届いています、市民の声



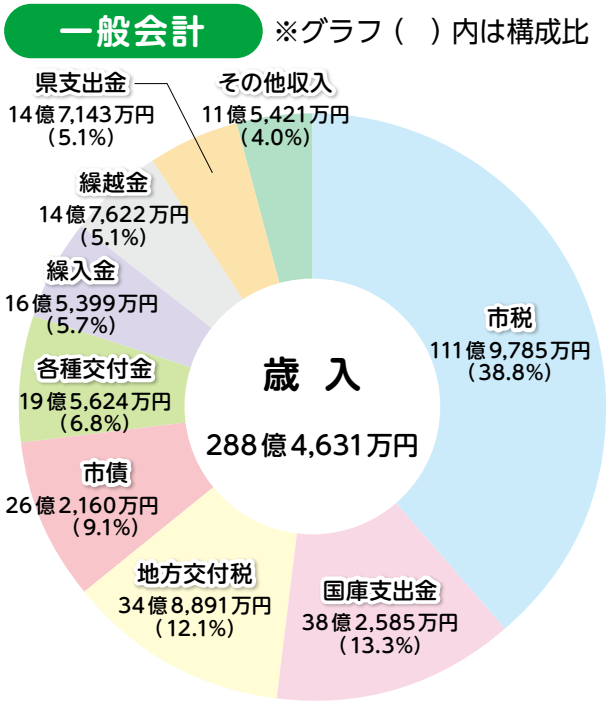
一般社団法人 いなべ市観光協会主催
第６回 いなべ市観光写真コンテスト作品
「古刹の主」河村泰親さん

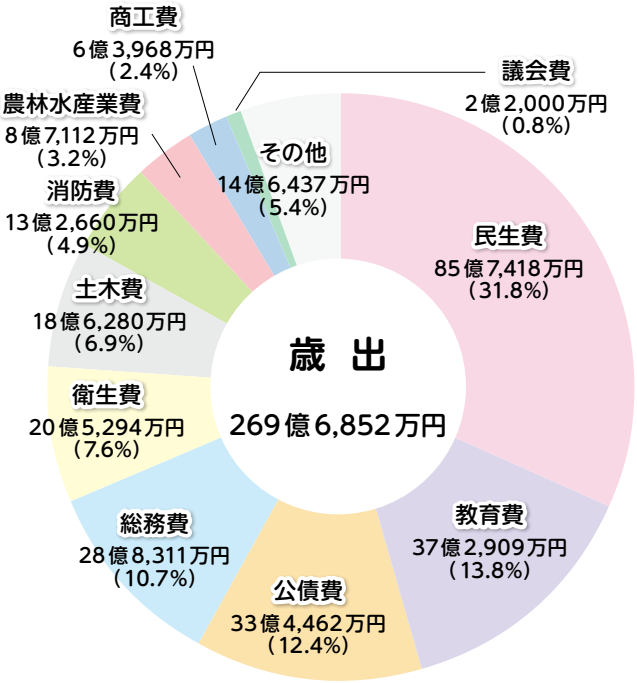
暮らしを支えた予算の行方
～令和７年度決算をチェック！～

令和７年度の決算は予算決算常任委員会 総務経済分科会および都市教育民生分科会で審査し、９月29日の本会議で、すべて認定されました。次ページでは令和７年度の主な事業を掲載しています。

一般会計

※グラフ（　）内は構成比





特別会計

区　分	歳入決算額	歳出決算額	一般会計からの繰入金	一般会計への繰出金
国民健康保険	42億1,571万円	40億7,253万円	2億8,813万円	0円
後期高齢者医療	13億1,795万円	13億1,239万円	6億9,952万円	2,462万円
介護保険	41億7,979万円	39億　224万円	6億　618万円	9,816万円
合　計	97億1,345万円	92億8,715万円	15億9,383万円	1億2,278万円

企業会計

区　分		収　入	支　出	一般会計からの補助金及び出資金
水道事業	収益的収支	11億6,756万円	11億　519万円	830万円
	資本的収支	5億7,627万円	11億　529万円	3億　417万円
下水道事業	収益的収支	18億　688万円	15億　145万円	7億　880万円
	資本的収支	5億8,802万円	12億3,081万円	1億8,371万円

※数値については、原則として円単位で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

監査委員による一般会計・特別会計の決算審査意見書（抜粋）

当年度の一般会計では、能登半島地震などを契機とした国の緊急防災・減災事業等の補助金を活用し、小中学校体育館への空調設備や老朽インフラの更新対策などを講じた。一方、物価高騰に伴い経常経費が増え、生産年齢人口減少に伴い市税収入が伸び悩み、公共施設の更新費用の増大による財政の硬直化が懸念される。ふるさと納税は経費率を適正に管理し、実質的な純財源を最大化するとともに、寄付金の使途をわかりやすく公表されたい。市税の滞納繰越については初期段階で適切に徴収を行い、負担の公平性と財源の確保を徹底し、健全かつ効率的な財政運営に努められたい。

令和７年度 主な事業

自治体DX推進事業

１億8,334万円

戸籍及び戸籍附票システム標準化移行業務
基幹システム標準化移行業務
ガバメントクラウド利用料
透明字幕表示ディスプレイ購入など



音声が文字として透明ディスプレイに表示される「レルクリア」を導入

公共交通調査事業

1,091万円

いなべ市地域公共交通実態調査・分析業務



特に市コミュニティバスの利用実態や運行状況を分析、ニーズや課題を把握

笠間こども園再建事業

9,083万円

仮設園舎賃貸借
新園舎建設のための用地取得など



新園舎建設のために取得した大井田の用地

障がい者グループホーム整備補助金事業

１億878万円

民間事業所が、障がい者グループホームを新設するにあたり、その整備に要する費用の一部を補助



いなべ市社会福祉協議会が新設したグループホーム・おれんじ

阿下喜ビジターセンター整備事業

6,686万円

観光案内とビジネス支援の両機能を併せ持つ地域拠点として阿下喜地区にビジターセンターを整備



多目的スペース、ミーティングスペース、レンタルキッチンなどを利用できる阿下喜ビジターセンター

観光施設整備事業

944万円

にぎわいの森ドッグラン整備工事



愛犬がのびのびと遊べ、飼い主同士の交流も生まれるドッグラン

道路メンテナンス事業

3,869万円

いなべ市管理道路橋梁点検業務（橋梁点検175橋）
市道畑新田上笠田線（笠田大橋）橋梁修繕工事など



橋梁点検の様子

公立小学校施設整備事業

４億1,730万円

小学校体育館空調設備設置工事など

公立中学校施設整備事業

１億8,224万円

藤原小中学校体育館空調設備設置工事など



空調設備の設置工事が完了した阿下喜小学校の体育館

令和９年度予算編成に向け市へ提言
～決算審査で各分科会が評価した施策と課題～

総務経済分科会

施策名　**快適な道路網の充実**
評　価　**適正である**
提　言　**施策を構成する事業を見直し継続する**

令和７年度予算執行では、東海環状自動車道の延伸とアクセス道路整備が進み、交流人口・関係人口の増加や物流活性化による地域経済への波及効果が現れ、広域的にも大きな成果があった。

一方、生活道路については自治会加入率の低下により自治会要望が市民全体の声を代表しているとは言い難く、潜在的なニーズや不具合情報を幅広く収集し市民と双方向で共有できる仕組みの構築が急務である。パトロール車へのカメラ搭載は評価するが、生活道路に重点を置いたルート設定と、市民からの通報を組み合わせた多層的な把握体制の整備を検討されたい。

第３次総合計画では、現行事業が幹線道路中心である点を認識し、生活道路の維持管理・修繕に特化した事業の新設を提案する。

また、社会基盤施設整備促進事業等の取組や成果が市民に十分伝わっていないため、広報紙やSNS等を活用した周知・啓発活動を展開されたい。

今後の高齢化を見据え、歩行者や自転車の安全に配慮した道路環境の整備を計画的かつ着実に推進されたい。

施策名　**美しい水環境の創出**
評　価　**適正である**
提　言　**現状のまま継続する**

本施策は課題が的確に把握され、水洗化率97.5％という高い数値が示すとおり市民満足度も高い。水質汚濁防止と快適な住環境・水環境形成への寄与、国庫補助金を活用した効率的な執行、農業集落排水施設の公共下水道への編入、不明水対策など工夫を凝らした取組は評価に値する。

一方、災害時の事業継続に向けた施設強化・体制づくりは進むが、成果を示す指標が不十分であり、成果指標の設定と情報公開により説明責任を果たされたい。

今後も不明水対策（有収率の向上）、老朽化対策・耐震化を勘案し、ウォーターPPP（官民連携）の活用や管渠清掃の優先度付けによるコスト縮減など費用対効果を高める方策を推進されたい。特に農業集落排水施設（藤原地区）の統廃合は、更新工事の規模・費用・技術的課題を含めた総合的な検証を早急に行い、丁寧な説明のもと計画的に取り組まれることを求める。


農業集落排水施設 舞谷地区処理施設を視察

令和７年度決算審査において、市が実施した施策の中から「快適な道路網の充実」「美しい水環境の創出」「地域の助け合いによる福祉の充実」「企業立地による産業の振興」の４つの施策を選定し、評価・検証を行いました。評価結果を議会の意見として決議し、次年度以降の予算編成に向けて市へ提言しました。



議長から市長へ決議を提出

都市教育民生分科会

施策名　地域の助け合いによる福祉の充実
評　価　適正である
提　言　施策を構成する事業を見直し継続する

本施策は、地域のつながりを守り、住民が支え合う社会を実現するうえで不可欠である。第２次総合計画で掲げた「市民が互いに協力し、主体的な地域福祉活動が活発に展開されているまち」の実現に向け、各地域で福祉活動が展開されてきたことは評価する。

しかし、担い手不足と活動者の高齢化、地域・近所間のつながりの希薄化、孤立・孤独問題の深刻化、自治会加入率の低下など、地域福祉の基盤を揺るがしかねない課題が顕在化している。既存の福祉委員会を核に、若い世代・自治会・ボランティア団体・企業など多様な主体を巻き込んだ地域共助の仕組みの再構築が必要である。

また、民生委員・児童委員のなり手不足も深刻であり、役割・意義などを伝える啓発活動の強化と活動しやすい環境づくりを検討されたい。

福祉委員会については、成果を示す指標を設定し、地域課題の早期発見、見守り活動、専門支援機関とのつなぎ機能が機能しているか見る必要がある。「誰一人取り残さない地域社会」の実現に向け、施策の実効性を高められたい。



福祉部へのヒアリング

施策名　企業立地による産業の振興
評　価　おおむね適正である
提　言　施策を構成する事業を拡充する

令和７年度は、女性雇用拡大を視野に入れた企業誘致や住宅政策と一体的な事業手法により成果を上げた。県事業の河川浚渫（しゅんせつ）残土を活用した造成コスト抑制、製造業雇用者数の 1.5 倍増加、２年間で４社の企業誘致達成は評価に値し、人口流出の歯止めにつながった。

一方、誘致企業の多くが自動車関連など既存業種にとどまり、新業種への広がりが十分でなく、若者や女性の就職ニーズに応える受け皿として十分に機能しなかった点は課題である。

第３次総合計画では、自動車産業への依存から脱却し、女性が活躍できる企業や AI・半導体等の先端産業など多様な業種の誘致を戦略的ターゲットとすべきである。東海環状自動車道の全線開通を見据え、職員体制の増強や専門人材確保、産業用地を提供できる仕組みの構築強化に努められたい。

企業誘致は手段であり、目的は市民の暮らしの豊かさと地域の持続的発展を念頭に、就労機会の拡充、住宅供給・子育て環境の充実、女性の就労支援を推進されたい。

決議の全文はこちら

9月定例会
（9月1日～9月29日）

補正予算や条例の制定などを含む21議案と4請願を審議

議案第51号　いなべ市オレンジ工房あげき条例の一部を改正する条例の制定について　全会一致で可決

いなべ市オレンジ工房あげきで行う事業のうち、生活介護利用者が増加傾向にあり、現在30人の定員に達しており、受け入れ体制を確保するため、短期入所を廃止し、生活介護の定員を30人から36人に変更する。

【生活介護利用者の推移】

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度（予定）	令和10年度(予定)
26人	28人	28人	30人	29人	30人	31人	32人

【現在、短期入所を利用している方について】
いなべ市オレンジ工房あげきの短期入所の機能は、いなべ市社会福祉協議会が近隣に設置したグループホーム・おれんじに移す。現在の利用者は、今までと同様に短期入所を利用できる。

質疑 **Q オレンジ工房あげきで短期入所を受けている人が、グループホーム・おれんじに移るにあたり、サービスや利用料の変更はあるのか。**

A 変更はない。

議案第55号　令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第5号）　賛成多数で可決

自治体DX推進事業（基幹システム標準化移行業務（子育て・手当関係））……360万4,000円

児童手当、児童扶養手当および子ども子育て支援の3業務をガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ移行する。令和9年11月の稼働を目指し、住民の利便性向上と行政運営の効率化を図る。

みえ子ども・子育て応援総合補助金事業（自然保育推進事業）……390万円

自然保育について、市内全てのこども園を対象として自然を活用した保育環境の充実を図る。



自然の中でのびのびと活動する園児たち

農業基盤整備事業（単独）……647万5,000円

老朽化により機能不全が生じている農業用施設のうち、緊急性の高い箇所について、市単独事業による川原用水路改修工事および奥村地区舗装復旧工事を行うほか、地元が施工する工事への原材料支給および工事費の補助を行う。

議案第59号　令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第6号）　全会一致で可決

公立小学校施設整備事業（員弁東小学校校舎教室増築事業）……1億2,050万円

員弁東小学校に通級指導教室を設置したこと、住宅開発により児童数が増加していること、および児童の特性に合わせたきめ細かな指導を希望する保護者の増加により、特別支援学級が増加していることから、員弁東小学校の教室が不足しているため、教室を増築する。



教室が増築される員弁東小学校

質疑 **Q もう少し簡易な工事の仕方の検討はなかったのか。**

A リース契約も検討したが、建物を建てる方が安価であり、10～15年使えると判断し、増築工事となった。

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成　●は反対　　渡辺一弘議長は採決に加わらない。（可否同数の場合は議長裁決）

議案名＼会派	付託委員会	審議結果	チーム共創いなべ					新政・絆			創風会			新風いなべ			いなべ未来		無会派	
			長﨑十九八	奥岡敦史	近藤厚旨	伊藤一成	小林雅史	小川幹則	西井真理子	渡辺一弘	清水隆弘	伊藤智子	小川英俊	片山秀樹	出口日佐男	伊藤三保	位田まさ子	岡英昭	岡恒和	黒瀬信明
議案第55号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第5号）	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第1号 令和7年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
認定第2号 令和7年度いなべ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第6号 令和7年度いなべ市下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

（付託委員会／予：予算決算常任委員会）

討VS論

本会議において「賛成」「反対」の討論があったもの

議案第55号　令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第5号）

賛成多数で可決



反対討論
黒瀬信明

地域クラブ活動の拡大に先立つ制度設計を

地域クラブ活動への移行自体を否定するものではない。しかし、委員会審査を通して、3種目から11種目へ拡大する一方、効果検証、教員負担の実測、送迎等の家庭負担、安全管理など、制度設計が十分に整っていないことが明らかになった。実施を急ぐ前に、検証し改善する仕組みを整える必要がある。子どもたちの活動機会を守り、持続可能な制度とするため、現時点での拡大を先行させることには慎重であるべきと判断し、反対する。



賛成討論
出口日佐男

地域クラブを推進し、中学生の活動機会を保障する予算だ

中学校の部活動は技術の習得だけでなく、協調性や責任感、努力の大切さを学ぶ重要な教育活動の場である。一方で少子化や教員数の減少により、従来での維持は困難になっている。本補正予算は地域クラブ活動を推進し、子どもたちの活動機会を保障するものだ。地域の指導者、保護者、学校、行政が連携し、経済的負担や地域格差、安全管理等に配慮しながら、子どもたちの声を反映した持続可能な仕組みの構築を切に要望し、賛成する。

認定第1号　令和7年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について

賛成多数で可決



反対討論
岡　恒和

市民負担を避けるため、梅林公園キャンプ場の見直しは必至

給食費無償化や、子どもの医療費の窓口無料などは評価する。しかし、市内キャンプ場が赤字決算の中、梅林公園あわいのパンフレットは「ふらっと訪れ、心のままにゆっくり滞在する」としている。素泊まり一泊2名46,000円でふらっとゆっくりできるのか。決算では、22億円もの費用が投じられたが、施設の見直しがされず、安価な料金設定や日陰も水辺もない場所をどう成立させるかの本格的な検討がされていないため反対。



賛成討論
清水隆弘

温故知新、いなべの縦糸を紡ぐ市政へ

令和7年度決算は財政調整基金を取り崩しながらも市税収入が伸び、地方債残高は減少。消防団詰所整備や、将来のごみ処理施設整備に向けた基本構想策定など、将来を見据えた投資を評価。一方、人口減少や少子高齢化を踏まえ、「あれもこれも」から「あれかこれか」へ、守るもの、変えるもの、やめるものを明確にし、限られた財源の選択と集中だ。成果と課題を今後の市政にどうつなげるのか。執行部にはさらなる改善と挑戦を求める。

9月定例会議案 議決結果一覧表

★全会一致となった議案等

※議案名は一部省略しています。

諮問第2号、3号　人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める…法務大臣に推薦するもの

議案第47号　認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定…地方自治法施行規則の一部が改正され、代表者等の住所を原則非表示とする等の改正が行われたことに伴い、条例の一部を改正するもの

議案第48号　部設置条例の一部を改正する条例の制定…健康こども部が所管する保健衛生に関する事務及び健康推進に関する事務を令和9年4月から福祉部に移管し、福祉部を健康福祉部に健康こども部をこども未来部に名称変更するため、条例の一部を改正するもの

議案第49号　職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定…令和7年の人事院勧告等に基づき、国家公務員及び三重県職員の給与等が改定されたことに伴い、条例の一部を改正するもの

議案第50号　廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定…廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部が改正され、市条例で引用する条項が繰り下げられたため、条例の一部を改正するもの

議案第51号　オレンジ工房あげき条例の一部を改正する条例の制定…オレンジ工房あげきで行う事業の利用者の定員を変更すること及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律が改正され、市条例が引用する条項が繰り下げられたため、条例の一部を改正するもの

議案第52号　家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定…児童対象性暴力等の防止及び適切な保護のための児童等対象業務従事者の犯罪事実確認等の措置の実施を義務付ける規定が新設されたため、条例の一部を改正するもの

議案第53号　工事請負契約の締結（産業振興支援施設設計等及び新築工事）…地域未来交付金（地域未来推進型）を活用して、産業振興支援施設を建設しようとするもの

議案第54号　市道路線の廃止…一般交通の用に供する必要がなくなった道路を廃止するもの（3路線）

議案第56号　令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第57号　令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第58号　令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第59号　令和8年度一般会計補正予算（第6号）

認定第3号　令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

認定第4号　令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定

認定第5号　令和7年度水道事業会計利益の処分及び決算認定

請願第1号　子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願…員弁郡いなべ市PTA連合会会長、員弁郡いなべ市校長会会長、三重県教職員組合桑名員弁支部支部長より出された請願

請願第2号　教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願…員弁郡いなべ市PTA連合会会長、員弁郡いなべ市校長会会長、三重県教職員組合桑名員弁支部支部長より出された請願

請願第3号　防災対策の充実を求める請願…員弁郡いなべ市PTA連合会会長、員弁郡いなべ市校長会会長、三重県教職員組合桑名員弁支部支部長より出された請願

請願第4号　義務教育国庫負担制度の充実を求める請願…員弁郡いなべ市PTA連合会会長、員弁郡いなべ市校長会会長、三重県教職員組合桑名員弁支部支部長より出された請願

発議第6号　令和7年度決算審査における施策評価に関する決議

発議第7号　義務教育の充実と教育環境の整備を求める意見書の提出について

暮らしに身近な議案について、市民の皆さまのご意見を募集しました

詳しくはホームページをご覧ください

議案第52号　いなべ市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及びいなべ市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

●犯罪事実確認にとどまらず、日常的な予防や見守りまで含めた実効性ある運用を要望する。

議案第55号　令和８年度いなべ市一般会計補正予算（第５号）より

農業基盤整備事業について

●地域の高齢化や担い手不足が進んでいる現状を踏まえ、今後の維持管理に向けて、地元での施工が難しい地域への柔軟な支援、農業用施設を「農業＋地域防災」のインフラとして評価、壊れてから直す対症療法からリスクを先回りして直す管理をお願いします。

地域クラブ活動モデル事業について

●文化芸術振興費補助金を活用とありますが、11種目の中で文化部が吹奏楽部のみなので、運動が苦手な子どもたちや文化的な活動に興味関心がある子どもたちを対象にした地域クラブも実施されると良いなと感じました。筆談カフェとして活用している「桐林館」では、アート活動や手話での交流なども実施しています。他にも民間で文化的な活動をしているところはあると思いますので、そのような場を、地域クラブとして取り入れたりできないか検討の余地があるのではないでしょうか。

※ご意見は紙面の都合上、編集しています。

議会発議により

国に意見書を提出

義務教育の充実と教育環境の整備を求める意見書

学校教育は次代を担う子どもたちの健やかな成長を支え、我が国の未来の基盤を築く重要な役割を担っていますが、近年、深刻な課題に直面しています。

物価高騰や経済格差の拡大を背景とした子どもの貧困問題は、教育格差及び体験格差へと直結することが危惧されており、セーフティネットの強化が急務です。

また、教職員定数配置基準上の欠員は生じていないものの、余裕のない人員配置は解消せず、教員不足・なり手不足の根本的解消には国の抜本的な施策強化が必要です。

よって、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、次の事項を強く要望します。

1　義務教育費国庫負担制度を堅持し、国庫負担率を２分の１へ引き上げるなど制度の抜本的な充実を図ること。

2　子どもの貧困対策を強力に推進し、就学支援制度や奨学金制度等の支援対象拡大や給付額増額など修学支援を拡充すること。

3　教職員の不足・欠員解消に向け処遇改善等を断行し、新たな「教職員定数改善計画」を策定・実施するとともに教育予算の大幅な拡充を図ること。

4　学校施設の耐震化や老朽化対策、長寿命化改修、避難所機能強化に係る財政支援を大幅に拡充すること。（要約）

意見書全文はこちら

一般質問 市民の声を届ける

13議員が登壇!!

質問通告項目は以下のとおりです。

一般質問では、議員が市政全般について質問します。
一般質問の内容についての記事は各議員の責任において要約し、掲載しています。
※各質問の動画は目次に対応する番号のQRコードからご覧いただけます。

長﨑　十九八……P10
❶ 保育サービスの充実について
❷ 第5次地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果について ～福祉を基盤とした豊かな地域社会の実現に向け～

伊藤　一成……P11
❶ ふるさと納税を活用した地域振興について

小林　雅史……P11
❶ 10年後の産業の変革を見据えた「フィジカルAI・国家戦略都市いなべ」の確立について

出口　日佐男……P12
❶ TOJいなべステージを終えての検証結果を問う
❷ 阿下喜駅周辺の改善を望む市民の声に耳を傾けて

伊藤　三保……P12
❶ こどもの意見の聴取を
❷ こどもの食と命を守るために

片山　秀樹……P13
❶ 太陽光発電事業の効果と課題

小川　英俊……P13
❶ 小学生の登下校時及び校内に於ける熱中症対策について
❷ 員弁運動公園内の野球場及びサッカー場他の環境整備について

伊藤　智子……P14
❶ いなべ市の地方創生の歩みとこれから

清水　隆弘……P14
❶ 担い手3法改正を踏まえた市発注工事の適正な執行について
❷ ALT（外国語指導助手）のさらなる活用について
❸ 中学3年生へのピロリ菌検査の実施及び除菌費用の公費負担を

小川　幹則……P15
❶ 高齢化、人口減少に伴う地域・自治会の維持 ～共助の再構築～
❷ 地域インフラの災害対策について

西井　真理子……P15
❶ 通学路見守りボランティア、継続できる取り組みを
❷ 誰もが自分らしく暮らせる人権が尊重されるいなべ市へ

岡　恒和……P16
❶ 市内住宅の耐震化状況及び補助制度を問う
❷ 敬老事業を問う

黒瀬　信明……P16
❶ 市内太陽光発電施設の実態把握と情報管理について
❷ 太陽光発電施設の事業終了後における撤去・廃棄リスクと地域資産保全について
❸ 体育施設の予約制度における市民の利便性と公平性の向上について



→動画配信サイトへ ❶ ❷

チーム共創いなべ
長﨑（ながさき）十九八（とくや）

民間小規模保育施設の開設支援を

答／参入事業者あれば支援制度を検討

Q 令和8年9月1日時点のいわゆる※1潜在的待機児童（留保児童）の状況は。
A 入所保留児童は168人。全て3歳未満児。



R8年4月1日　こども家庭庁 保育所等関連状況取りまとめ

Q 計画中の北勢子育て支援センターの3歳未満児保育室の定員計画は。
A 1、2歳児定員を17人拡大。
Q 民間の小規模保育所誘致支援制度の創設について見解は。
A 小規模保育事業は3歳未満児の受け皿対策として有効な選択肢の一つ。参入の相談があれば情報提供などを行う。
Q 開設費用が民間参入の障壁となっている。開設に係る支援は。
A 検討していきたい。
Q 開設の補助金を支給するため補助金交付要綱の改正を。
A 参入する事業者があれば検討する。

次期地域福祉計画に※2市民の声を

Q 活動団体の新規加入の少なさ、役員のなり手不足について支援策は。
A 負担感軽減、参加しやすい環境づくりを検討する。
Q 福祉委員会の運営支援強化策は。
A 画一的な活動を求めるのではなく、地域の実情に応じた支援に取り組む。
Q ※3コミュニティ・ソーシャルワーカーの状況は。
A 様々な分野で活躍している。地域おこし協力隊なども位置付けていいと考える。

※1 潜在的待機児童…特定の園のみを希望しているなどで待機児童にはカウントされないものの実際にこども園等に入園できていない児童
※2 市民の声…第5次地域福祉計画の策定に向けた市民アンケート
※3 コミュニティ・ソーシャルワーカー…暮らしや地域の困りごとを、地域の人や専門機関と連携し、解決に向けた支援を行う相談員



→動画配信サイトへ ❶

チーム共創いなべ
伊藤一成（いとう かずなり）

ふるさと納税を活用した地域振興

答／市の宣伝PRはより重要

Q 令和6年の納税額が約5,000万円、また、令和5年の市民1人当たり寄付額が1,573円と類似団体平均1万8,726円のわずか8.4％にとどまっている現状について、市の認識と分析は。

A 類似団体と比較すると、まだ伸ばせる余地は大きいと認識している。

Q 季節商品等について、返礼品の停止、再開を行うため、事業者が複数のポータルサイトへ個別に連絡する必要があるなどの事務負担について、市は把握しているか。

A 事業者に一定の作業が必要となることは認識している。市では事務効率化を図るために、ポータルサイトの窓口を一元化しているので、複数のポータルサイトへの個別連絡をする必要はない。

Q 梅林公園あわいの体験型アクティビティを入口にして、あわいだけでなく、いなべ市の自然への観光誘致を考えているか。

A 季節とか地域ならではの魅力を組み合わせた特別体験ができるものを検討していく。

Q ふるさと納税に中間業者を入れて活用する考えはないか。

A 今のところ考えていない。

Q 地域協力をしたい企業人などを活用する考えはないか。

A 検討していく。



（AI生成イメージ図）



→動画配信サイトへ ❶

チーム共創いなべ
小林雅史（こばやし まさし）

産業変革を見据えた国家戦略都市

答／国や県指定が前提で制度上難しい

Q 本市が、北勢地域の自治体、企業を束ね、北勢地域※フィジカルAI特区のような広域連携をリードする考えは。

A 特区制度は規制の特例措置を伴うものであり、国や県の指定を前提とした制度設計のため、単独でリードすることは制度上難しい。本市は、ものづくり企業の集積地として多くの製造現場を有し、フィジカルAIの取り組みが加速度的に進展する可能性がある。企業間での技術連携を可能とするフィールド整備が求められる際には、積極的に支援する。

A 北勢地区5市5町の首長で構成する北勢未来会議を設置している。圏域全体の利益を最大化するため、圏域内自治体の特性を互いに尊重し、連携した取り組みを進めることが重要。

※フィジカルAI…画面の中だけでなく、現実世界（物理空間）で身体を持ち、自ら考えて行動する人工知能（AI）のこと

Q 総合計画の財政フレームで10年後（2035年）の市税は約100億円と設定しているが、新たな企業誘致や産業の創出により税収を拡大させる戦略は。

A 産業構造の変化に的確に対応するため、既存企業およびサプライチェーン企業への支援を基軸とし、航空宇宙産業、水素・アンモニア関連産業、半導体産業など、投資意欲が旺盛な新規成長産業の誘致発掘に積極的に取り組む。

Q 実証ワンストップ相談窓口の設置が必要と考えるが。

A 新規企業の進出、既存企業の拡張整備、事業活動に関する日常的な相談など、関係部署と緊密に連携を図りながら、ワンストップで対応している。



→動画配信サイトへ ❶ ❷

新風いなべ
出口日佐男（でぐちひさお）

TOJいなべステージの結果を問う

答／市民の誇り・愛着につながった

Q 今年の観客動員数は１万6,000人。令和５年から令和７年の観客数は。

A 令和５年が１万6,000人、令和６年が１万8,000人、令和７年が１万9,000人。

Q 公益財団法人JKAの補助金を除いた過去３年間の決算額、今年の決算見込み額は。

A 令和５年が2,057万円、令和６年が2,140万円、令和７年が2,516万円、今年は2,940万円。

Q 市長はこの大会を市民の誇りと言うが、交通規制で不便を感じる市民の声と経済効果の両方のバランスをどのようにとるつもりか。

A TOJ開催（全８ステージ）による経済波及効果は約７億4,000万円～９億8,000万円、消費による効果は約25億5,000万円～34億円。市民や企業の協力のもと、経済効果と市民の誇り・愛着につながっている。

Q 観客数の減少、多額な税金の投入、大会への苦情、駐車場・駐輪場の減少などを考慮すると、継続の中止を断行すべきでは。

A 市を挙げたお祭りなので、私からやめますということは差し控えたい。



阿下喜駅前をスタートする選手

阿下喜駅前周辺の改善を求める

Q 三重交通阿下喜停留所待合室に時計とエアコンの設置を。

A 利用者の利便性向上の観点から、三重交通に働きかける。

Q 三岐鉄道北勢線の券売機で新紙幣が使えるよう改善すべきでは。

A 将来的にICカードのみの対応に移行するため、改善する予定はない。



→動画配信サイトへ ❶ ❷

新風いなべ
伊藤三保（いとうみほ）

子どもの意見の聴取を

答／専用窓口の設置は考えていない

Q 身近でない人に相談したい子どもに、※1独立アドボカシーの活用を提案する考えは。

A ※2セルフアドボカシーが難しい時には、家庭や地域など、子どもの身近な環境で子どもの声を受け止める力を高めることに注力しているので、現時点では、独立アドボカシーの活用は考えていない。



出典：三重県教育委員会「子どもの権利と「子どもアドボカシー」を学ぶ教職員用資料」

※1 独立アドボカシー…学校や家庭等と利害関係を持たず独立した立場で、子どもの気持ちや意見を聴き、子どもが望む方法で必要な支援につなぐ存在。

※2 セルフアドボカシー…子どもが自分の権利を守るため意見や要望を述べ、必要な支援を受けたり望まない行為を拒んだりするコミュニケーション手段。

Q アンケートで、子どもの意見を伝えるSNSの専用アカウントを求める意見があるが、取り組む考えは。

A SNS等の専用窓口の設置は考えていないが、LINEやメール、電話など多様な窓口を案内している。

Q 子どもたちの声が専用アカウントを求めているが。

A たくさんの相談窓口があるので、しっかり活用することが大事。

子どもの食と命を守るために

Q 夏休み期間中の子どもの食生活の実態を把握しているか。

A 支援が必要な家庭や子どもについては、日頃の窓口業務や各種相談事業において、困りごとの把握に努めている。

Q 長期休業中の昼食支援を行う考えは。

A 具体的なニーズの範囲を正確に特定することが難しく、財政負担や人員体制の確保が難しいため、現時点で市主体の支援事業を実施する予定はない。

Q 将来的にも考えないのか。

A きちんと自分の足で歩いて行ける範囲で子どもの居場所をつくり、その先に食事の提供があると考える。



→動画配信サイトへ ❶

新風いなべ
片山秀樹（かたやまひでき）

太陽光発電事業のトラブル解決は

答／改定された県ガイドラインで対応

Q 太陽光発電事業者が隣接地権者に木の伐採を求めた場合や、倒木による損害の責任は誰が負担するのか。

A 民法では枝が境界を越えるときは、隣接する地権者に伐採する義務が発生する。境界を越えていない樹木の伐採は、所有者の判断によるものとなる。倒木の危険性がある樹木を放置して発生した損害は民法のとおり責任が発生する場合がある。



太陽光発電事業所から、
木の伐採を要求された隣接地権者の山

Q 隣接する地権者に説明もなく設備を建設、事業を開始し、ガイドラインを守らない事業者から、改定したガイドラインで高齢の地権者をどうやって守ることができるのか。

A 今回のトラブルは、説明の必要がなかった改定以前のもので、ガイドラインの適用になっていない。さかのぼって適用はされない。

Q ガイドラインだけで隣接地権者を守れるのか。

A 指導を守らない事業者が多くなるようなら、県に条例化を求めていく。

Q 市は野立ての設備の設置はせず、公共施設の屋根や屋上の活用の方針を示したが理由は何か。民間の太陽光発電事業にも反映させないのか。

A 環境省の再エネ推進交付金メニューを活用し、本事業の実施要綱に規定される自家消費型の太陽光発電に基づくものである。民間の事業活動については、法令規制の範囲内で適切に実施されるものと認識している。



→動画配信サイトへ ❶ ❷

創風会
小川英俊（おがわひでとし）

小学生の登下校時の熱中症対策

答／校長会で情報共有する

Q 熱中症対策として、子どもを守る家や子ども安全安心の店で、水分補給に協力してもらうよう依頼はできないか。

A 十分な水分を携行して下校することを、保護者と学校が協力して児童生徒に周知、徹底した上で、緊急時等における水分補給の協力を依頼することから始めたい。

Q オンデマンド交通やスクールバス、福祉バスを連携させることで、児童の負担軽減に寄与する通学環境の整備はできないか。

A 児童の登下校における、スクールバス活用拡大については、現時点では考えていない。
車両の保有台数にも限りがあるため、児童の登下校における福祉バスの活用については困難であると考える。

員弁運動公園の環境整備

Q 員弁運動公園競技場の草刈りの時期について、効率的な除草作業の進め方をどのように取り組んでいくか。

A 野球場については、利用者から苦情の報告を受けている。令和8年はゴールデンウィーク前に施行してもらうよう依頼し、対応を行っている。

Q グラウンド照明LED化を検討する考えについて、市としてどのように認識しているか。

A グラウンド照明のLED化については、令和8年9月補正予算において対応。員弁運動公園野球場含む9施設を対象とした10年間のLED照明機器賃貸借事業である。



市内外の多くの人に利用される
員弁運動公園野球場



今後LED化が進められる
グラウンド照明



→動画配信サイトへ ❶
創風会
伊藤智子（いとう のりこ）

地方創生の歩みとこれから

答／ふるさと住民登録制度新設を検討

Q 国の地方創生交付金の使途は。
A 歳入総額は約44億円。子育て世帯や住民税非課税世帯などへの給付事業、母子健康手帳アプリ開発、高齢者デジタルライフ実装事業、キャンプ場や梅林公園における拠点施設整備など多岐に活用。

Q 交付金のうち市民や事業者が自主的に活用したものは。
A 自主的ではないが、野外体験保育・健康づくり教室・いなべる・元気づくりシステム・野遊びSDGs推進事業・山辺ビジネス開発などで市民の参画を得て、市が推進してきた。

Q 市民がまちづくりの担い手となり、地域を支える力が育っていると思うか。
A 地域活性化の活動を行う市民が増えていると感じている。

Q 地方創生は行政と市民が寄り添い、地域のために動き出そうと思う人を増やすことが大切と考えるが、市の考えは。
A 重要と認識している。場づくりや伴走支援を充実させ、市民のやってみたいを後押ししていきたい。

Q 地域づくりを支える地域伴走コーディネーターを配置し、自治会館などで多世代の人が誰でも参加し、おもちゃやトランプなどで交流できる遊びの会などを行うのは。



地域多世代交流「あそびの会」（AI生成イメージ図）

A 先日、木育キャラバンを行った。今後も多世代交流の場を考えていければ良い。具体的には今後検討する。



→動画配信サイトへ ❶ ❷ ❸
創風会
清水隆弘（しみず たかひろ）

中学3年のピロリ菌検査の実施を

答／胃がん対策の優先度は高くない

Q 中学3年生は義務教育最後の年。既存の学校保健の仕組みを活用してピロリ菌の検査ができる。家庭環境や経済環境、保護者の健康意識によって子どもがピロリ菌検査を受ける機会に差が生じている。教育長の考えは。



（AI生成イメージ図）

A 実施主体は教育委員会ではない。中学生本人はもとより家族、そして中学生の将来の子どもに対しても有効ということもわかっている。

Q 伊賀市は800人の中学生で260万円。いなべ市なら350人で130万円。費用対効果は非常に高いと思うが。
A 費用のことではなく、市全体の健康課題の優先順位を考えたときに、胃がんについては現時点ではそれほど優先度が高くないという判断。

※担い手3法改正により市発注工事の適正な執行を

Q 市内建設業者の減少、高齢化、若手不足について市は現状を把握しているか。
A 把握している。市内建設業者の減少や技術者の高齢化、若手不足は重要な課題であると認識。今後も発注において公共工事の適正な労務費、工期設定、価格変動への対応、可能な限り発注時期の平準化等に努め、地域の建設体制の問題解決に向け、必要な対応を検討する。

※担い手3法…建設業の人材確保と工事の品質を守るため、建設業法・入契法・品確法の3つを一体的に改正した法律。

ALT（外国語指導助手）のさらなる活用について

Q 2,700万円の予算で、5人で十分か。
A 平成21年度に4人から5人になった。学校から要望もないので、5人で対応していきたい。



→動画配信サイトへ ❶ ❷

新政・絆
小川幹則（おがわもとのり）

高齢化人口減少に伴う地域の維持

答／地域と一緒に対応策を考えていく

Q 福祉委員会・自治会・行政が担うべき課題をどのように整理しているか。

A 地域と行政と社会福祉協議会が一緒になって、担い手不足も含め、地域が維持発展できるよう考えていく。

Q 地域共生交付金が大幅に削減される方針が示されたが、高齢者、障がい者などの自助・共助・公助への影響はあるか。

A 自助・共助・公助の支援体制を後退させることはない。

Q 防災アプリを活用するよう啓発しているが、活用状況と課題は。

A 防災アプリを活用して独自の配信ができないかと要望があり、自治会独自で配信できるよう改修した。
スマートフォンの保有年代が年々上がる中、ダウンロード数が増えればと考えている。



いなべ市防災アプリ
「知らせぇーる」

地域インフラの災害対策

Q 過去の冠水や浸水などが発生した箇所は、修繕整備の優先順位の条件になっているか。

A 河川の分類と損傷度をもとに周辺状況を考慮し、優先度を決定している。対策が必要な箇所については、緊急自然災害防止対策事業計画を策定し、予算確保を進め対策工事を実施する。

Q 担い手不足の中で、市として維持すべき農業用水の維持、地域内草刈について所感は。

A 原則、地元農家組合や自治会で実施すべきと考える。高齢化等の問題には、交付金を活用し地域全体で取り組むよう依頼している。



→動画配信サイトへ ❶ ❷

新政・絆
西井真理子（にしいまりこ）

声なき生きづらさに寄り添いを

答／個別に向き合える体制を整備

Q 人権問題は特別なところにだけ存在するものではなく、日常の生活の中に存在している。市民の暮らしの中にある小さな違和感や声にならない生きづらさに寄り添うことこそ、人権啓発基本方針を実践していくことではないか。

A これまでに行ったアンケートでは、少数の意見の中に生きづらさを訴える意見があった。多数の意見に注目しがちだったが、今後の計画もあるため、こういった視点も大事にしていきたい。また、基本方針が示され20年が経ち、引きこもり、DVなど十人十色の困り感についてしっかり向き合って、個別に向き合える体制を整えていきたい。

通学路見守り、継続できる取り組みを

Q 通学路の見守り、担い手不足について市が認識していることは。

A 学援隊やボランティアの高齢化、共働き家庭の増加や労働年齢の引き上げに伴い、協力依頼に応じられない状況もある。



（AI生成イメージ図）

Q 企業へ見守りを依頼してはどうか。

A 教育委員会と都市整備部で協議し、企業へ依頼していきたい。

Q ボランティア活動への感謝を見える形にするため、ポイント制度を取り入れてはどうか。

A ボランティアの自発的な支えを前提としている。学校と地域が協力しながら活動しやすい環境づくりに努めていく。



→動画配信サイトへ ❶ ❷

無会派
岡　恒和（おか　つね　かず）

代理受領制度導入の考えは

答／耐震改修への適用を検討したい

Q 代理受領制度は、木造住宅の耐震改修に関し、工事費が180万円の場合、80万円を用意すれば、残金100万円は自治体が直接業者に支払うというもの。手持ち資金が少なくて済み改修促進に大きな効果を持つと思うが導入の考えは。

A 改修事業促進の観点からも、有効な手段と考え導入に向け検討したい。

Q 旧耐震基準による住宅は（昭和56年5月以前）、震度5程度で倒壊しないとされている。しかし、養老-桑名-四日市断層帯による地震では、市の60パーセント程度が震度6強以上とされているため、危険との認識がいる。市の耐震工事の実績は、10年間で3件であり、補助制度が有効に機能しているのかが問われる。県内の補助一覧表では、いなべ市は115万円と少ない。見直す考えは。

A 亀山市が150万円であり、耐震改修には費用がかかることから検討を図る。

令和8年4月1日現在（凡例：●：補助制度あり）

	木造住宅耐震											
	無料耐震診断	耐震補強設計	精密診断法上乗せ	耐震補強工事	補助上限額（万円）	段階耐震補強工事	リフォーム工事	リフォーム補助額上乗せ	代理受領制度（※）	耐震シェルター	家具固定
桑名市	●	●	●	●	150	●	●		●		
いなべ市	●	●		●	115		●				
木曽岬町	●	●		●	100	●	●			●	
東員町	●	●	●	●	150	●	●	●	●	●	●
四日市市	●	●	●	●	150	●	●	●	●	●	●
菰野町	●	●	●	●	150	●	●				●
朝日町	●	●		●	115		●		●		●
川越町	●	●	●	●	172.5	●	●		●	●	●
鈴鹿市	●	●	●	●	157.5		●			●	●
亀山市	●	●	●	●	150		●	●	●		●

出典：三重県ホームページ「各市町補助制度の一覧」（抜粋）

敬老事業を問う

Q 令和8年6月、これまでは訪問型、集合型のどちらでも補助対象としていたものを集合型しか補助しないとの通知が来た。なぜ年度途中での変更となったのか。またその理由および決めたのはいつか。

A 令和8年2月に趣旨を説明したので理解してほしい。理由は、本来の趣旨、祝い合う形式に戻した。令和8年5月敬老推進委員会で決定した。



→動画配信サイトへ ❶ ❷ ❸

無会派
黒瀬　信明（くろせ　のぶあき）

市内の太陽光発電施設の状況

答／総数2,579件

Q 市内の太陽光発電施設を全数把握しているか。

A 市が把握するFIT※1・FIP※2認定件数は727件。国のデータベースでは、認定中の施設は屋根設置1,758件、地上設置821件、総数2,579件。なお、国・県の情報を全て共有することは不可能である。

Q 銅線盗難について、3月定例会以降、警察と情報共有や防犯対策を協議したか。

A 協議していない。

※1 FIT…再生可能エネルギー電気を固定価格で買い取る制度。
※2 FIP…市場での売電価格に一定のプレミアム（補助額）を上乗せする制度。

撤去・廃棄への備え

Q 事業者が撤退・倒産等で撤去責任を果たせなくなった場合に備え、事前に対応体制を検討する考えはあるか。

A 事業者が逃げた場合は、まず地権者との問題になる。有害物質の流出等があれば県が対応することになる。

Q 事業終了後、撤去・処分が完了したことを確認しているか。

A 撤去・処分の届け出実績がなく、現場確認の実績もない。

Q 将来に備え、市独自の管理体制を検討するか。

A 国・県の法令やガイドラインに基づき対応する。

体育施設予約の見直し

Q 早朝から窓口に並ぶ現在の方法は、市民にとって公平か。

A 必ずしも全ての市民にとって公平とは言いがたいと再認識している。

Q 本予約から利用許可までオンライン化できるか。

A システムを構築すれば可能だが、十分な検討が必要である。

Q 予約システムを見直す考えはあるか。

A 使用料等も含め、全体的に検討している途中である。

通年議会制の導入に向けて



いなべ市議会では、通年議会制の導入に向け、令和７年度から議会運営委員会を中心に調査・協議を進めています。

Q.通年議会制って何？

議会の会期を１年間とし、いつでも議会活動ができる制度です。

Q.会期はどう変わるの？

現　在	通年議会制
年４回の定例会	年１回（通年） 1月1日～12月31日

通年議会制の定例会議は原則、
3月・6月・9月・12月に開催します。

Q.通年議会制を導入するメリットは？

予算対応等が迅速に

市長は１年を通じて補正予算を提案でき、議長は会議を開くことができます。

緊急事態に対応

災害など突発的な問題に対し、素早く議会対応ができます。

委員会活動が迅速に

議長への申し出が不要で委員会活動ができ、市民のニーズに素早く対応できます。

市民参加や情報発信の機会が充実

市民参加や情報発信の機会が充実します。

Q.いつから始まるの？

令和９年（2027年）４月１日から開始予定です。

ご意見・ご質問をお聞かせください

通年議会制についてのご意見やご質問がありましたら、右のQRコードからお送りください。
いただいたご質問は、議会ホームページでQ&Aとして回答します。



議会をもっと、身近に

いなべ市議会では、次代を担う子どもたちから大人まで、市政や議会への関心を深め、自ら社会に参加する意識を育む取り組みを進めています。

その一環として、令和8年7月に親子議会体験ツアーを開催し、また8月に行われたど真ん中まつりにブースを出展しました。

市議会をのぞいてみよう！親子議会体験ツアー

今年で4回目となる「親子議会体験ツアー」を開催し、小中学生8名、保護者7名にご参加いただきました。

当日は、議会棟の見学や市議会の仕組みの説明、議員への質問、模擬電子採決の体験、修了証書の授与など、盛りだくさんの内容で議会を楽しんでいただきました。





議長室で議長と副議長から直接説明。熱心に耳を傾ける参加者



本会議場の質問席から、緊張しながらも議員への質問に挑戦



議会棟見学をより楽しむための小さなミッション。マグネットと文字集め

初企画！ど真ん中まつり出展

いなべ市青少年育成市民会議主催のど真ん中まつりに市議会として初出展しました。

「あなたの選挙ポスターを作ろう！」と題し、ポーズを決めて撮影し、デザインを選んで名前を入れると、その場でオリジナルポスターが完成。約50名が体験し、大好評でした。



参加者の皆さまが、これらの体験を通じて市議会への理解を深め、市政を身近に感じるきっかけとなれば幸いです。今後も市民に親しみを持って議会を知っていただける機会を設けていきます。



クイズの応募はがきに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。
紙面の都合上、すべてのお声を掲載できませんのでご了承ください。
たくさんのお声をありがとうございました。

- 議会の情報はいつも隅々まで読んでます。誰もが住みやすく優しいいなべ市をつくっていきたいため、引き続き議会の内容を注視していきたいです。 42歳

- いつも読ませていただいています。ありがとうございます。よく理解できます。猿対策をお願いします。大変困っています。 69歳

- 討論の内容を２件紹介されているが、議会で討論する場面は少ないのでしょうか。 86歳

「討論」は、採決前に議案への賛成・反対の意見を述べるものです。また、「討議」は、議案などについて議員同士が意見を交わし、論点を深めるものです。当市議会では、委員会での議案審査などにおいて討議する機会も増えています。今後も議論の充実に努めます。



- 子どもの数が減少していく中、藤原小、中学校の取り組みは今後参考になってくると思いました。古い施設を改修する時は、保育園小学校老人ホームを近くにまとめて、できるだけコンパクトな形で持続可能な運営を考えて頂きたいです。 40歳

- 毎回クイズを楽しみにしてます。 63歳

- いなべ市に関する事や、議員の方達の考えが記載してあり、少しでも理解しようと思いました。また、子供が生まれた為、今まで見る機会のなかった学校関連の事も知るきっかけとなりました。ありがとうございます。 27歳

- もっと市民の声を、上げる機会がほしい。 74歳

- 議会傍聴、ネット視聴の見逃しをよむ（ギカイ）で補え、且つ、集約されて、議会の活動（もの足りないが）を認識してます。 80歳

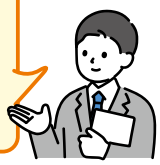
- 議員さんの答えが細かく載っているのが良い。中学生が議場を見学出来る取り組みがすばらしいと思います。 50歳

- 中学生が議会を訪問することは、初めての経験だと思うので、市政に興味を持つ大変良い機会だと思うので、続けてほしいです。 70歳

- 野尻橋の通行止めは大変不便です。なんとかして下さい。 72歳

- 政務活動費の収支報告書を見て、研修費が100,000円以上の会派は、どこでどのような研修を受けられたのかなど研修費の内訳も知りたいです。 62歳

各会派が実施した研修の内容や研修費の内訳は、市議会ホームページまたは議会図書室で、政務活動費収支報告書を閲覧できます。



- 勉強になることがいっぱいで考えさせられます。今年の夏も暑い日が続き身体も頭も使い乗りきりたいと思います。議員の方々もバテないように頑張って下さい。 77歳

クイズの解答

ご応募いただき、ありがとうございました。正解者の中から、当選者15名の抽選を厳正に行いました。
当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

正解

問1 3月定例会の後、報告と市民との意見交換を行ったのは。
○○報告会 …… 議会

問2 藤原中学校と北勢中学校の皆さんが議場を訪れて体験したことは。
電子○○ …… 採決

問3 従来のパイプテントに替えてユニットハウスを使用し、2日間行われるイベントは。○○祭り …… そば

応募時にご提供いただいた個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

編集後記

賑やかな虫の鳴き声が、秋の深まりを感じさせます。
広報部は、定例会ごとに「よむギカイ」のための原稿の校正を行います。文字の大きさはどうか、どんなイラスト、色がいいか、など読みやすい表現、分かりやすい内容になるよう、試行錯誤しながら毎回丁寧に取り組んでいます。また、8月には広報の研修会にも参加し、読みやすい紙面構成などについて学びました。
皆さんのお手元に届いたときに、読みやすいなぁと思っていただければ幸いです。

12月定例会について（予定）

◆開会日 …… 11月27日(金)
一般質問 …… 12月 3日(木)
12月 4日(金)
総括質疑 …… 12月 9日(水)
予算決算常任委員会 …… 12月 9日(水)
総務経済常任委員会・分科会 … 12月10日(木)
都市教育民生常任委員会・分科会 … 12月11日(金)
予算決算常任委員会 …… 12月16日(水)
◆閉会日 …… 12月18日(金)

議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。途中入場、退場が可能です。お気軽にお立ち寄りください。
＜受付場所＞ 市役所 議会棟2階

インターネット配信

中継配信 URL
http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp

録画配信 URL
http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

録音放送

いなべFM（86.1MHz）で議会の録音放送を聴くことができます。
詳しくはホームページにてご確認ください。

SNSの配信

市議会の情報を配信しています。

ご意見箱の設置

皆さまのご意見をお待ちしています。
＜設置場所＞ 市役所 行政棟1階（正面玄関付近）
市役所 議会棟1階（入口付近）
市役所 議会棟2階（傍聴席入口付近）

みんなの声カフェ

意見交換を希望される市民団体・グループを大募集

いなべ市議会 議会事務局
〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地
TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872
https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/

令和8年11月1日発行 発行／いなべ市議会 編集／広聴広報委員会 広報部会

UD FONT by MORISAWA